

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	在宅障害児(者)支援センター きらら		公表日		令和7年2月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ベッド等を使用しない際は、一か所にまとめておくなどしてできるだけスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準は満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差もなく、車いすでの移動もスムーズです。熱発、不穏時の落ち着ける場所としての部屋の確保もできており、状況に合わせて使用しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用終了後には必ず清掃を行うように徹底しています。必要に応じてのアルコール消毒も実施しております。必要のない物品等は必ず片づけて部屋をできるだけ広く使用できるように努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		アコーディオンカーテンで部屋がいくつか区切ることができるようになっており、個別に対応したい際に使用するようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	毎年目標設定を掲げ、達成度合についても協議したうえで数値化しています。	事業計画の立案に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施済。アンケート結果を基に業務改善に努めました。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフ数が限られていることもあり、日ごろからそれぞれが意見を出し合っの検討の場は設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	感染症流行前は、第三者による評価を定期的に行っていました。	感染症流行後は行えていません。今後機会があれば積極的に検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		パソコンの共有ホルダーに映像として保存されており、職員全員が視聴研修するよう義務付けられています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		サービス等利用計画書を基に、しっかりと聞き取りをした上での作成に努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的な更新、作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		管理者だけでなく、看護師・理学療法士等の意見を交えた上での作成に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画は、スタッフがいつでも見れるように一か所にまとめております。また、計画の変更があった際には、スタッフ間で情報を共有するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたものを使用しており、変更点などあれば、その都度修正しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	家族支援や地域支援等の項目に関しては、項目に上がることが少なかったように思います。今後改善に努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		話し合いした上で企画立案を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		興味関心に応じたプログラムを月毎に組むように努めています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別活動という点では、実施できておりません。今後実施できるように努めます。	小グループの活動のみで個別活動は行えておりません。業務を見直し、個別活動の時間がとれるように改善いたします。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員全体で行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員全体で行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別の記録を徹底しています。記録内容を基に支援内容を随時変更しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に話し合いの場を設け、本人や保護者の意向を聞きながら、必要に応じて計画の見直しを図っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		基本活動に基づいた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		意思表示できないこどもへの対応として、活動の中で選択肢を設けたうえで視線や表情などをくみ取って導き出しています。	意思の疎通が困難な重症心身障害児への対応。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者からの依頼に応じて、連携を行っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との連携は必要に応じて行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		助言や研修を受けて支援に生かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	特にありません。	医療的ケアを要するこどもたちの感染対策。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	感染症流行前は、月1回程度の地域連携部会に参加しておりました。	機会があれば積極的に検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートなどを利用し、日頃の状況把握に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		訓練士に介介してもらい、日常の姿勢等アドバイスをしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時や年に2回のモニタリングの際に行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者に直接、説明・確認をした上で同意していただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、各部署と連携を取りながら相談をお受けしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	共通の悩みや困り事がある保護者同士を仲介することはありますが、保護者会は未開催です。	保護者の要望に応じて、保護者会等の設置を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情を受けた際には速やかに対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年に4回、通信を発行。保護者に配布し、センター内でも掲示しています。HPIについては開所後間がないため開設できていません。	HPの開設。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		組織的に気を付けております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に寄り添えるような配慮を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	実施できておりません。	医療的ケアを要するこどもたちの感染対策。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		施設スタッフには、マニュアルを作成し周知徹底を行っております。定期的な防災訓練や感染症対策の研修会を行いました。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1度、センター全体で行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際に行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の際にアレルギーの有無をしっかりと確認し、適切に対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画的に訓練を実施。パソコンの共有ホルダーにも映像として保存されており、職員全員が視聴するよう義務付けられています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保育安全計画を作成し入口カウンターに開示しています。	保護者への周知。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		文章として常に確認できる状況にあり、案件の都度再発防止策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		計画的に研修を実施。パソコンの共有ホルダーに映像として保存されており、職員全員が視聴研修するよう義務付けられています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な児童さんはいらっしゃらないのですが、そのようなケースがあれば、しっかりと対応したいと思います。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	在宅障害児(者)支援センター きらら
------	--------------------

公表日 令和7年2月10日

利用児童数 6名

回収数 4

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				・今後の利用人数によってはわからない部分があります。	活動、余暇、食事などの場面において固定化してしてしまう傾向にあります。今後を見越した上で、全体的に広く自由に使用できるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2	2		感染症の流行のため、積極的な参加が難しかったように思います。地域資源を活用できるように、情報の収集等に努めて今後検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		2	1		個々の相談等には対応させていただいていますが、研修会を開催するまでには至っておりません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				年に2回モニタリングを実施しており、計画内容の確認以外でも相談等をお受けしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2	2		保護者会の立ち上げには保護者の皆さんの負担も生じると思われるため積極的に機会を設けることはしておりません。ご希望でしたらご意見を参考に検討してまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1		2		3か月に一度、活動の様子を載せた通信を配布しておりますが、その他の情報を紙面には載せていませんでした。防災訓練の様子や行事予定を今後載せるなど、通信の内容が充実したものになるよう再検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		1		マニュアルはありますが、保護者への周知はなされていませんでした。今後、通信の紙面にて保護者にお知らせできればと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3		毎月施設全体で防災訓練を実施していますが、保護者への周知ができていなかったように思います。今後、防災訓練の様子等を通信の紙面にて保護者にお知らせできればと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1		1		保育安全計画は入口カウンターに開示させていただいております。このことについては、通信の紙面にて保護者にお知らせできればと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1		1	・現在まで事故がないのでなんとも言えない。	利用前の保護者への聞き取りの際に、緊急時の連絡先を控えさせていただいております。必要に応じて保護者への連絡を必ず行っており、トラブルへの対応の説明、確認を迅速に行えるように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	在宅障害児(者)支援センター わかくさ				公表日	令和7年2月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員に達すると手狭になるため、幼児椅子で対応できる場合は座位保持椅子から降りて参加してもらっている。	保育をする際の座位保持椅子の配置。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たしている。	突然の退職や予期せぬ長期病休。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		習慣的に掃除を実施。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		午睡時など個別に対応しなければいけない状況があれば柔軟に対応している。	長時間の個別対応。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎年目標設定を掲げ、達成度合についても協議したうえで数値化している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表だけではなく、日々のコミュニケーションでも意向を確認している。	今年度より実施。今後も継続的に実施し改善につなげたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		把握した意見はその都度周知し、業務の見直しを図っている。	評価表としては今年度より実施。今後も継続的に実施し改善につなげたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		依頼先の検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		パソコンの共有ホルダーに映像として保存されており、職員全員が視聴研修するよう義務付けられている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		総合リハビリテーションセンターのHPに公表している。	保護者への周知。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		年2回のモニタリングを経て、変更点などあれば修正や加筆をしたうえで説明している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種で関わることで多角的な意見を総合的に検討して作成している。	多職種が一堂に会する時間設定、時間配分。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		変更点などあれば、その都度修正している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		変更点などあれば、その都度修正している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目以外の相談にも柔軟な対応を心掛けている。	ガイドラインの保護者への説明。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士が中心となって立案。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		水遊びなど、定番になっている活動の内容について、飽きがこないよう毎回工夫して提供している。	定番の活動の固定化。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○		活動の個別化と集団化の組み合わせはしていないが、必要に応じて個別対応を実施している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援の低下につながらないよう、各自フォローしながら対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭及び日誌にて周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、日誌として記入しており、ケース記録として個人ごとに保管。月間要約にて支援の検証改善を行っている。	提出日の徹底。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者との日程調整のうえ、前期後期と年に2回のモニタリングを実施している。	保護者との日程調整。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		業務の都合により日程の調整が困難な場合がある。	他事業所との連絡調整や時間調整。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院、保育所ともに隣接しており、円滑な連携が図れている。また、遠方の保育所とも連携が取れている。	新規保育所との連携。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		利用時から他事業所と併行利用している場合もあるが、こどもの成長過程に応じて保育所などへの移行を提案している。また、保護者に了解を得たうえで情報共有も行っている。	保育所、学校などとの連絡調整や時間調整。 新規事業所との信頼関係。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		個人記録票を作成し情報共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○		センターとしての役割の実行。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	研修参加はあるものの、専門家や専門機関等へ積極的な助言を求めるまでには至っていない。	専門的な助言を得ること。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		業務の都合により日程の調整が困難な場合がある。	他事業所との連携。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。					
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書にて説明をしており、署名捺印をいただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年2回のモニタリングにて意向を確認。変更点などあれば修正や加筆をしたうえで説明している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年2回のモニタリングにて意向を確認。変更点などあれば修正や加筆をしたうえで説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		通所時に聞き取りをしており、状況に応じて対応している。	定期的な聞き取り。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39		○	共通の悩みや困り事がある保護者同士を仲介することはあるが、保護者会は未開催である。	保護者会の立ち上げ。
	40	○		相談や申し入れに対しては即座に対応するよう心掛けているが、体制が整っていることを周知するまでには至っていない。	保護者への周知方法。
	41	○		通園だよりを毎月発行。HPについては開所後間がないため開設できていない。	HPの開設。
	42	○		書庫、部屋ともに施錠をし管理している。	
	43	○		手話がある程度理解できる子どもには手話で対応するなど、柔軟な支援に努めている。	意思の疎通が困難な重症心身障害児への対応。
	44		○		医療的ケアを要する子どもたちの感染対策。
非常時等の対応	45	○		計画的に訓練を実施。パソコンの共有ホルダーにも映像として保存されており、職員全員が視聴するよう義務付けられている。	保護者への周知。
	46	○		毎月、マニュアルに基づいた災害訓練を実施。また、毎月発行する通園だよりで日程を周知している。	
	47	○		利用開始前の聞き取りにて状況を確認。	
	48	○		利用開始前の聞き取りにて状況を確認。管理栄養士と情報共有を図っている。	
	49	○		計画的に訓練を実施。パソコンの共有ホルダーにも映像として保存されており、職員全員が視聴するよう義務付けられている。	
	50	○		保育安全計画を作成し掲示板にて掲示している。	保護者への周知。
	51	○		文章として常に確認できる状況にあり、案件の都度再発防止策を講じている。	
	52	○		計画的に研修を実施。パソコンの共有ホルダーに映像として保存されており、職員全員が視聴研修するよう義務付けられている。	
53	○		身体抑制手順マニュアルを作成し周知しているも、今のところ当事業所には身体拘束の対象児童がいない。		



公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	在宅障害児(者)支援センター わかくさ		公表日	令和7年2月10日		利用児童数	14名	回収数	13
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			定員に達すると手狭にはなりますが確保されています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3		・一時期、少ないように思いました。職員のかたが余裕のもてる人数だと安心します。	突然の退職による減がありました。すぐに募集を開始し、現在は基準を満たしております。ご心配をおかけしました。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		・活動している様子をずっと見ているわけではないので分からないのですが、教室の前に園庭のような遊ぶスペースがあればいいなと個人的には思います。	駐車スペースのためハード面での難しさはありますが、プランターで季節の花を植えたり、こどもさんと種まきなどの活動も行っていきます。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			入園時の聞き取りの際に情報提供いただいた内容は職員全員で共有しております。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1	総合リハビリテーションセンターのHPに公表しておりますが、保護者の皆さまへ周知されていませんでした。申し訳ございません。		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1			個別支援計画については、年2回のモニタリングを経て、変更点等があれば修正や加筆したうえで保護者の皆さまに確認していただいています。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			3	・本人支援は通園時にしっかりしていただいていると思います。他が分からない。	ご家族からの相談に対応させていただいています。また、就学する際の進路相談や学校との連携にも応じております。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1			・利用日数が少ないので難しい部分があるかと思えます。	利用日数の多寡に限らず支援プログラムに沿って公平に支援をするよう心掛けています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				毎月保育内容を作成しております。定番のメニューもありますが季節に合った活動など工夫させていただいています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	3	3	・日数が少ないので、我が子はあまり参加できていないと思いますが、機会はあるのだと思います。	他の保育所や事業所など併用利用されている子供さんはいらっしゃいますが、感染対策の観点からわかくさでの機会は設けていません。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	2	2		個々の相談等には対応させていただいていますが、研修会を開催するまでには至っておりません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	3	4		保護者会の立ち上げには保護者の皆さんの負担も生じると思われるため積極的に機会を設けることはしておりません。ご希望でしたらご意見を参考に検討してまいります。	
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				2	相談や申し入れに対しては即座に対応できるよう心掛けていますが、体制が整っていることを周知するまでには至っておりません。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1				通園だよりは毎月発行しておりますが、HPについては支援センターとして開所後、間がないため未だ開設されておりません。早急の開設に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			3		マニュアルはありますが、保護者への周知はなされていませんでした。通園だより等で存在について周知するよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			3		毎月、災害訓練を実施しております。また、日程については通園だよりでお知らせしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		保育安全計画は掲示板に開示させていただいております。このことについては、通園だよりに1回だけお知らせしたのですが、定期的にお知らせするよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				・あったことはないが、病気が流行した時も連絡下さったりしていたと思います。	重大な事故などはないですが、軽微な事案でもその都度ご説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			2		ご自分で表現することが難しいお子さん多いらっしゃるので、皆さんが楽しいと思える場であるよう、今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	3			・訓練の時間にどのようにしているのか、どんなことができるようになっていくなど知りたいと思います。 ・いつもありがとうございます。	訓練士との直接的な話をご希望であればすぐに対応いたします。遠慮なくお申し付けください。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		在宅障害児(者)支援センター わかくさ		公表日		令和7年2月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		事業所の物品を貸し出して行事に臨んだこと もあり、状況に応じて臨機応変に対応してい る。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		勤続年数に差異があるが、適切に配置されて いる。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		毎年目標設定を掲げ、達成度合についても協 議したうえで数値化している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○			今年度より実施。今後も継続的に実施し改善 につなげたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○			今年度より実施。今後も継続的に実施し改善 につなげたい。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		依頼先の検討。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		パソコンの共有ホルダーに映像として保存さ れており、職員全員が視聴研修するよう義務 付けられている。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		訪問の都度、意向の確認や計画の見直しを実 施している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種で関わることで多角的な意見を総合的 に検討して作成している。	多職種が一堂に会する時間設定、時間配分。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の職員に保育中の様子を確認しても らったうえで、なにを取り入れたいか困り事 は何なのか意向を伺っている。	訪問先との日程調整。子どもの体調不良など 突発的な対応。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		口頭及び書面にて周知している。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		変更点などあれば、その都度修正している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		身体機能のサポートや維持、身体のポジショ ニングなど具体的な内容で設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		変更点などあれば、その都度修正している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		支援の低下につながらないよう、各自フォ ローしながら対応している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭及び書面にて周知している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		支援実施前の訪問先との連携の際に確認した うえで実施している。	新規訪問先との連携。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		毎回記録しており、身体機能のチェックやポ ジショニングについて適宜検証している。	訪問期間の間隔が開いた際の身体の成長度合 い。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		訪問の都度、意向の確認や計画の見直しを実 施している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		業務の都合により日程の調整が困難な場合がある。	他事業所との連絡調整や時間調整。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院、学校ともに隣接しており、円滑な連携が図れている。また、遠方の学校や保育所とも連携が取れている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前には個人記録票を提供し、情報共有を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	研修参加はあるものの、専門家や専門機関等へ積極的な助言を求めるまでには至っていない。	専門的な助言を得ること。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		業務の都合により日程の調整が困難な場合がある。	他事業所との連携。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		外来訓練時や通所時に聞き取りをしており、共通認識のうえ対応している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	個々の相談への対応は実施できているが、研修の機会は設けていない。	家族参加できる研修を検討する。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書を提示して説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先からの依頼もあるが、保護者からの依頼の際には、保護者からのみならず事業所としても説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者からの聞き取りや訪問先施設の意向を確認したうえで作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		説明したうえでサイン押印をいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		外来訓練時や通所時に聞き取りをしており、状況に応じて対応している。	定期的な聞き取り。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者同士の交流は担っておらず、保護者会も未開催である。	保護者会の立ち上げ。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対しては即座に対応するよう心掛けているが、体制が整っていることを周知するまでには至っていない。	保護者への周知方法。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	支援センターとして、開所間がないためHPが未だ開設されていない。	HPの開設。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書庫、部屋ともに施錠をし管理している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		丁寧な説明を心掛けているものの当事者へ伝わっているか不安な場面あり。	意思の疎通が困難な重症心身障害児への対応。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		適宜対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		期間を経てポジショニングなど新たな困り事がないか確認している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援事業記録表を作成し共有を図っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		訪問先施設との共通認識として、取り扱いに留意している。	新規訪問先施設との信頼関係の構築。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		適宜対応しており、適切な助言に努めている。	新規訪問先施設との信頼関係の構築。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月、マニュアルに基づいた災害訓練を実施。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		保護者が確認できる場所に掲示している。	保護者への周知。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		文章として常に確認できる状況にあり、案件の都度再発防止策を講じている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		計画的に研修を実施。パソコンの共有ホルダーに映像として保存されており、職員全員が視聴研修するよう義務付けられている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体抑制手順マニュアルを作成し周知しているも、今のところ当事業所には身体拘束の対象児童がいない。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年2月10日

在宅障害児(者)支援センター わかくさ

利用児童数

6名

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			・生徒の実態に応じた助言をしていただける。 ・身体を動かす方向や力の加減などを丁寧に教えていただき活動の中に取り入れています。	専門職員により対応させていただいています。しっかりと説明を聞いていただき、また実践していただき感謝しております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			・教えていただいたことは非常に勉強になりました。	今後ともよろしくをお願いします。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	4			・知りたいことは全部回答いただきました。	今後ともよろしくをお願いします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4			・生徒に負担の少ない臥位姿勢を指導していただいた。 ・本人にとって楽な姿勢について知ることができてよかったです。	一人ひとりに合ったポジショニングがありますが、成長によって変化が生じることもございます。ご相談があればその都度身体を観察してお伝えいたします。
5	事業所からの支援に満足していますか。	4			・非常によかったです。	ありがとうございます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・身体の仕組み、動かし方の注意点やコツなどを細かく教えていただき、参考になることばかりでした。</p> <p>・年に1回ではなく、学期に1回来ていただくと日々の困り事を相談できて助かります。</p>					<p>訪問回数については、子供さんの受給者証によりそれぞれサービス量が異なりますが、概ね月に1回から2回となっています。ご家族の希望があれば日程調整など検討したうえで伺いできると思います。</p>	

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	在宅障害児(者)支援センター わかくさ		公表日		令和7年2月10日		
			利用児童数	6名	回収数	6	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			2		身体機能のサポート方法やポジショニングの助言が主となっていますが、当事業所の物品を貸し出したこともございました。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5			1		聞き取りの内容によっては相談室などで対応させていただいています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	1				重要事項説明書にて説明するよう心掛けていますが十分でなかった部分があったのかもしれない。申し訳ございませんでした。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	6					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5				1	事案によっては、訪問先からのご意見も頂戴したうえで作成しております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				1	ガイドラインの説明不足でした。申し訳ございませんでした。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				1	支援計画に基づいて実施させていただいています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6					
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				1	重要事項説明書にて説明させていただいています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			1		ご説明が足りていなかったと思います。今後、しっかりと説明させていただきます。申し訳ございませんでした。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4			2		個々への情報提供は行っていますが、研修開催までには至っておりません。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5			1		相談の都度、対応させていただいておりますが、定期的な支援には至っておりません。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				1	相談や申し入れに対しては即座に対応するよう心掛けていますが、体制が整っていることを周知するまでには至っておりません。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		1	1		支援センターとして開所後、間がないためHPが未だ開設されておりません。早急の開設に努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					
	28	事業所の支援に満足していますか。	6					